

# 視聴覚教育時報

No.711 2018年 10月号

## contents

- ▽私のことば「“後世へ残す記録”としての映像づくり」河道 威
- ▽平成30年度全視連「視聴覚教育功労者」7名が決定  
—11月16日（金）全国大会・広島大会で表彰—
- ▽講師派遣事業 愛知県視聴覚教育連絡協議会中央研修会
- ▽専門委員だより「映像が語りかけるもの」丸山裕輔
- ▽えすけーぷ / ▼訃報

▽私のことば「“後世へ残す記録”としての映像づくり」  
佐賀大学 全学教育機構 クリエイティブ・ラーニングセンター 河道 威

近年、日本国内において、“デジタルアーカイブ”の重要度が高まってきています。研究学会等も立ち上げられ、産学官を上げて“デジタルアーカイブ”への取り組みが広がりつつあります。佐賀大学では以前より、佐賀県内の伝統工芸や伝承芸能、歴史遺産等を映像で記録、アーカイブ化を行っており、私自身もその制作に携わってきました。記録した映像は、単なるアーカイブ映像としてだけでなく、視聴覚教材としても利用できるように編集し、コンテンツ化しています。

（詳しくは、佐賀デジタルミュージアム：<http://www.saga-els.com/sdm/>をご覧ください。）

私がアーカイブ映像をつくる際に心がけているのは、被写体の歴史的、文化的な背景を大事にすること、できるだけ全

ての工程をカメラに収めること、一切の演出はしない、の3つです。見栄えの良い映像にしようとする、撮影の際に演出を加えたり、絵になる場面だけを取り上げたくなるものです。しかし、物事の表面や一点だけを捉えた映像では、正しい情報が視聴者に伝わらないかもしれません。教材として映像を使用する場合は、特に注意が必要です。そのため、私は、忠実にその場の光景を記録することを心掛け、編集の際にも、情報が間違っていないか、誤解を与える表現になっていないか、慎重に作業しています。

さて現在、「映像」というとエンターテイメント的な要素のほうが目立っていますが、そもそもの映像の役割は『記録』であると私は考えています。生物には寿命がありますし、文物や建造物、自然なども永遠には残らないかもしれません。近年、日本では

大きな自然災害が続き、様々なものが突如として失われるケースも多くなっています。そのような場合に備え、記録できる時に記録し、後世へ財産として残しておく、これが映像の重要な役割なのではないかと考えています。人々が生きてきた証、文物が存

在してきた証を後世まで残す一つの手段が、映像による記録なのです。私自身、これからは忠実に被写体と向き合い“記録”としての映像を撮り続けていきたいと思っています。

---

## ▽平成 30 年度全視連「視聴覚教育功労者」7 名が決定

—11 月 16 日（金）全国大会・広島大会で表彰—

各都道府県教育委員会および各加盟団体の推薦により、平成 30 年度 第 21 回全国視聴覚教育連盟「視聴覚教育功労者」7 名が次の通り決定いたしました。なお、表彰式は 11 月 16 日（金）開催の視聴覚教育・放送教育の全国大会・広島大会の 1 日目に、ひろしまおりづるタワーにおいて執り行われます。

■山形県・原田 成夫（はらだ しげお）  
昭和 50 年、北村山広域行政事務組合に就職。北村山視聴覚教育センターおよび組合教育委員会総務課勤務は通算 42 年間となる。特に、地域の自作教材制作、視聴覚教育および天文教育に尽力し、同センターの事業発展に寄与した。また、全国視聴覚教育連盟の専門委員や監事を平成 18 年 4 月より平成 27 年 4 月まで就任。平成 23 年 4 月に同センター所長に着任後は、研究・研修活動として小中学校情報教育研修会や、視聴覚教育講演会、ビデオ講習会、コンピューター研修会、委嘱研究員授業研究など指導助言を行い大きな成果を上げるなど、地域の視聴覚教育に貢献した。

■栃木県・椎名 麻衣（しいな まい）  
平成 13 年に栃木県総合教育センターで開催された IT 講習会を受講後、修了生

で組織した「栃木県メディアボランティア」の一員として、団体立ち上げ当初から活動に携わり現在に至る。初心者を対象としたパソコン相談会や公共団体が開催する講座のボランティア講師を引き受けるなど、平成 23 年からは同団体の代表として会員のスキルアップや自主講座開催によるメディア教育の振興発展に寄与している。また居住地である小山市の観光協会においてもホームページや SNS の管理運営、配信を通し、観光情報を広く発信するなど、地域に多大なる貢献を行っている。

■埼玉県・増田 敬一（ますだ けいいち）  
昭和 56 年、県内公立小学校に着任、教員 2 年目で視聴覚主任となる。平成元年から埼玉県及び埼玉葛学校視聴覚教育連盟幹事、平成 13 年から春日部市教育委員会社会教育課指導主事、平成 22 年から埼玉県視聴覚放送研究団体連絡協議会に所属し、子どものメディア文化研究会会長となり、平成 29 年 3 月に春日部市立内牧小学校長として退職するまで、35 年間に学校教育及び社会教育における視聴覚・情報教育の振興に携わり、教育メディアを活用した学習活動を地区及び県段階での指導的な立場で率先垂範の姿勢で取り組み、視聴覚教育・情報教育の振興

に寄与した。

■新潟県・佐藤 克彦（さとう かつひこ）

昭和55年より県内公立小学校に勤務。平成元年4月から十日町市視聴覚ライブラリー主任・視聴覚教育主事として、視聴覚教材の整備、VTRビデオ作成やコンピュータ研修会の講師を担当した。平成4年から新潟県立生涯学習推進センターに社会教育主事として勤務した。ここでは、県内の視聴覚ライブラリーが主催する視聴覚教育研究大会での全体指導や、関東ブロックの視聴覚教育研究大会の分科会指導を行った。また、同センター主催の視聴覚メディア研修の講師を務めるなど、地域や県内で学校教育のみならず社会教育における視聴覚教育の普及に尽力した。

■岐阜県・見鳥 功（みとり いさお）

笠原町視聴覚クラブ（現協議会）に入会してから45年間、現在に至るまで視聴覚ボランティア活動に取り組んでいる。子ども会育成連絡協議会長や公民館長など、社会教育の推進にも携わっており、その立場を活用しながら、視聴覚教育の普及および視聴覚教育を通じた青少年の育成に尽力した。また、地域の行事・イベント等のビデオ記録撮影を行ない、行政をはじめとする各種団体の活動を支援している。現在においては、笠原町視聴覚教育協議会長及び岐阜県社会教育視聴覚連絡協議会常任理事として、地域及び県の視聴覚教育の普及に大きく貢献している。

■鹿児島県・染川 秀夫（そめかわ ひでお）

昭和55年川内市教育委員会社会教育課主事視聴覚ライブラリー担当、平成10年中央図書館係長と視聴覚ライブラリー担当を兼務、同28年中央図書館視聴覚ライブラリー担当などを経て現在に至る。その間、視聴覚教育指導者認定講師や16ミリ映写機操作免許証認定講座講師の資格を取得。また、視聴覚教育指導者研修講座上級を取得し、市民等を対象とした講座を開設したり映画の上映会を開催している。さらに、鹿児島県視聴覚教育連盟の専門員として県の教材選定に携わったり、県自作視聴覚教材コンクールの審査員を務めたりするなど、県全体への貢献も大きい。

■北九州市・浅川 章三（あさかわ しょうぞう）

民間企業に勤務する傍ら、昭和48年16ミリ映写機操作技術講習会を受講。同時に「北九州市A V Eの会」若松区会に入会し現在まで45年間在籍。77歳を迎えた現在でも、毎月学童保育クラブや老人施設、保育園などを訪問し、16ミリ映画の巡回映写会を開催している。平成13年からは同会本部理事、同20年から若松区会副会長（会長代行）、同27年から現在まで若松区会会長の要職を歴任。同会での45年間にわたる地道な活動と経験、リーダーシップは、広く北九州市の社会教育活動並びに青少年育成に大きく貢献している。

## ▽講師派遣事業 愛知県視聴覚教育連絡協議会中央研修会

全視連の講師派遣事業を活用し、梶山女学園大学教授・柝窪優二氏を講師として、表記研修会の講演が実施されました（写真）。

1. 日時：8月2日(木) 13:30~16:45
2. 会場：愛知県生涯学習推進センター
3. 参加者：ライブラリー職員、学校教員、教育委員会職員など 36名
4. 講師：柝窪優二教授（梶山女学園大学文化情報学部メディア情報学科）
5. 講演テーマ：「映像作品の企画・構成について」
6. 講演内容  
＜映像制作の流れについて＞○明確な作品テーマをもち、何を伝えるか、またそ

れは撮影可能か、映像制作環境の確保や費用・労力・制作期間の打合せが大切。台本を作成してからでも再検討し、修正していくとよい。○内容をどのような順番で伝えるかについては、「ハコ書き」して順番を決め、決まったらハコ内の構成を検討する。

＜具体的な事例から企画・構成を考える＞○作品のテーマに適した企画・構成が必要である。撮影機材や編集技術が進歩しても、いかにメッセージを伝えるかという点は、今も昔も変わらない。企画・構成の最終責任者は、制作者であることを忘れないようにしたい。



## ▽専門委員だより「映像が語りかけるもの」

新潟県阿賀町立上条小学校校長（全視連副専門委員長） 丸山 裕輔

当校は明治6年に開校し、創立から145年の長い歴史と伝統があります。しかしながら、今年度3月末に閉校することとなります。閉校記念誌を作成するにあたり、過去の卒業アルバムをはじめ、貴重な写真をデジタル化する作業を職員と共に行いました。尋常高等小学校時代の凜とした卒業写真。厳かな雰囲気を感じられます。地域の



方々が大勢取り囲んでいる校庭での運動会の写真。子どもたちが躍動する姿には、その鼓動や大きな声援が聞こえてくるようです。保護者が下刈り作業を懸命に行っている学校林の写真。今も変わらない風光明媚な豊かな自然の中で、当時の熱い思いが伝わってきます。授業風景の写真からは、教師の温かい眼差しと子どもたちの真剣な表情。教室に飾られている習字や絵画作品の優美さ。

かけがえのない1枚の写真のそれぞれに、校風・学校文化が映し出されています。

す。新しく開校する学校へ受け継がれるもの。映像が語りかけ、人の心や学校の文化をつなぐ架け橋となります。



学校林の下刈り

### ▽えすけーぶ

▽本年度の視聴覚教育功労者表彰7名の方々が決まりました。

この表彰制度が発足以来20年経過していますが、近年は各加盟団体及び都道府県から推薦される表彰者候補数は一桁台に留まっており、中には1度も推薦頂けない所もあるようです。

地道に視聴覚教育の充実発展に努力された方々が必ずいるはずです。ぜひスポットライトを当てて頂きたいものです。

▽本年度総合全国大会広島大会が迫ってきました。

全視連関係は1日目に広島市映像文化ライブラリーを会場に、施設見学や事業紹介が予定されています。

「人の振り見て我が振り直せ」という言葉がありますが、今回見学する広島市映像文化ライブラリーは、日本映画等の収集・保存・上映等の事業を中心としている特色あるライブラリーですので、映像教材を中心に事業を展開している視聴覚ライブラリーにとっては参考になる事も多いかと思っておりますので、ぜひ参加してみてください。(m)

### ▼訃報 望月武夫氏

元(財)日本視聴覚教育協会理事・事務局長、全国視聴覚教育連盟事務局次長の

望月武夫氏は、去る7月25日に逝去されました。享年89歳。

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門PFビル

TEL: 03-3431-2186 / Fax: 03-3431-2192

HP: <http://www.zenshi.jp/>

Mail: [info@zenshi.jp](mailto:info@zenshi.jp)

# 東映 教育ソフト Line-up!

## 小学校 社会科

### なぜなに社会科 映像資料集

#### DISC1 飲料水・電気

- 知りたい! 浄水場 (11分)
- 知りたい! 火力発電所 (11分)
- 知りたい! 自然エネルギーを使った発電 (14分)

#### DISC2 ごみ処理・下水道

- 知りたい! 清掃工場 (10分)
- 知りたい! 資源のリサイクル (13分)
- 知りたい! 下水処理場 (12分)



次期学習指導要領に向けた、小学校社会科の新シリーズ。最新の映像、的確な構成で、社会の中の様々な事象を紹介します。とことん映像の力で見せていく社会科教材の王道をいくシリーズです。

監修：東京都台東区立金竜小学校 校長 古谷尚律

DISC1 3タイトル+映像クリップ 本体価格:66,000円(税抜)  
DISC2 3タイトル+映像クリップ 本体価格:66,000円(税抜)

## 小学校 道徳・特別活動・防犯

### 情報モラルを身につけよう! 小学生のスマホの安全な使い方教室

- 1巻 自分も相手も傷つけないために (21分)
- 2巻 危険な目にあわないために (18分)

スマホを利用してトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、子供たちに安全で正しいスマホの使い方をわかりやすく解説した作品です。情報モラルを身につけることの大切さを子供たちに訴えます。

監修：兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内和雄

文部科学省特別選定  
学校教育教材・社会教育(教材)



各巻 66,000円(税抜)  
2巻セット 120,000円(税抜)

指導の手引書・ワークシート付き

## 中学生の消費者教育シリーズ

### 自立した消費者になろう! 「契約」を学び「権利」と「責任」を自覚する

中学生が「契約」について理解し、消費者トラブルの解決法と予防法を知り、消費者の「権利」と「責任」を自覚することを狙いとしたドラマ形式の作品です。



監修：東京経済大学現代法学部教授 弁護士 村千鶴子

教育映像祭優秀賞受賞 (19分) 66,000円(税抜)

### 食品の表示と安全を学ぼう! 科学的に考える力を身につける

食品表示の基本ルール、食品添加物の役割やその安全基準のメカニズムを、専門家の解説と図や表を交え、分かりやすく描いていきます。



監修：相模女子大学 栄養科学部管理栄養学科教授 農学博士 三輪操

科学技術映像祭特別奨励賞受賞 (25分) 66,000円(税抜)

お問い合わせ・チラシ請求は

☎ 03(3535)3613 FAX03(3535)3632

予告編  
配信中

<http://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像 検索



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

(価格は税抜きです) ●学校向け特別価格もございますので、お気軽にお問い合わせください。

<http://www.toei.co.jp/edu/>